

星の屑満ちるときガンダム再び宇宙へ

機動戦士ガンダム0083
MOBILE SUIT
GUNDAM 0083
—ジオンの残光—

© 創通エージェンシー・サンライズ
製作:サンライズ・バンダイ 製作著作:サンライズ
配給:松竹株式会社

DOLBY STEREO
一部上映館を除く

機動戦士ガンダム0083 MOBILE SUIT GUNDAM 0083

—ジオンの残光—

機動戦士ガンダム劇場最新作／スペース・コロニー——超巨大建造物が、地球めがけ落下を開始した。そして、GUNDAM vs GUNDAM、果てしなき死闘の果てには!? 新鋭実力派スタッフが総力を結集して贈るSFアクション巨編!!

INTRODUCTION▶シリーズ初の「ガンダム」アナザー・ストーリーとして絶賛された「機動戦士ガンダム0080—ポケットの中の戦争—」(’89年OVA作品、全6巻)に続くシリーズ最新作が、劇場用作品として完成した。

ジオンとの一年戦争終結から3年——。19才の青年コウ・ウラキはMS(モビルスーツ)テストパイロットとして、オーストラリア連邦軍基地で訓練に明け暮れていた。だが彼の目の前で、テストのためスタンバイしていた2つの最新型ガンダムの1機がデラズ・フリートと名乗るジオンの残党に強奪されてしまった。そしてそのガンダムには、核弾頭が搭載されていたのだ!

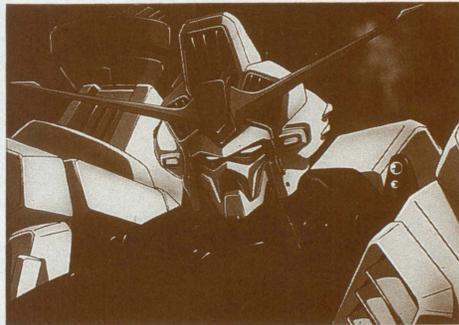
——衝撃的なオープニングで幕を開ける壮大なストーリーは、あらゆるアイデアが盛り込まれ、緻密な構成と息をみつかせぬアクションの連続で、文字通りラストシーンまで一瞬たりとも目が離せない。シリーズに一貫する2大要素である「壮絶な戦闘シーン」「濃密な人間ドラマ」も大幅にスケールアップされている。なかでも、ガンダム同士の戦いという、他のガンダム作品にはない魅力的なシチュエーションが今回の最大の話題であり、宇宙空間で繰り広げられるガンダム“フル・バーニアン”と対戦戦闘用重装甲ガンダムの激烈なドッグ・ファイトシーンはファンを魅了するに違いない。

また、主人公のパイロット、コウ・ウラキと彼に惹かれる最新型ガンダムのシステムエンジニアのニナ・パープルトン、旧ジオン軍のエース、アナベル・ガトー。目に見えぬ宿命に導かれたこの3人の織りなす運命も、もう一つの見どころである。困難ともいえるこの壮大なストーリーを映像化するためにガンダム・プロジェクトとしてはかつてない規模で実力派のアニメーション・スタッフが集められた。「シティーハンター」「装甲騎兵ボトムズ」などの演出で鋭敏な映像センスを見せた今西隆志を監督に起用。キャラデザイン・総作画監督に「ガンダム0080」「ガンダムF91」の新鋭・川元利浩。総メカ作画監督は「ウイナス戦記」の佐野浩敏。メカ・スタイリングに映画「超時空要塞マクロス」の河森正治。メカニック・デザインは明貴美加、カトキハジメ、石津泰志。音楽は「ロードス島戦記」(OVA)の萩田光男が提供している。

キャストはコウ・ウラキに「銀河英雄伝説(ラインハルト)」の堀川亮、ニナ・パープルトンに「トップをねらえ!(アマノカズミ)」の佐久間レイ、アナベル・ガトーに「ふしぎの海のナディア(ネモ船長)」の大塚明夫——と人気・実力ともトップクラスの3人。

また“デラズ・フリート”を追撃するペガサス級強襲揚陸艦“アルビオン”の艦長、エイパー・シナプスを大塚周夫が演じる。大塚周夫・明夫親子の初共演が実現したのも超人気シリーズならではのことだ。

「MOBILE SUIT GUNDAM 0083—ジオンの残光—」は全12巻のOVA超巨編(OVAタイトルは「機動戦士ガンダム0083 STARDUST MEMORY」)として’91年5月よりリリースが開始され、現在もリリースが続いている超ロングセラーOVA作品を再構成したものである。今回は9月に最終巻がリリースされるのに先駆けての、ファン待望の劇場公開である。



—STAFF—

企画:サンライズ/原作:矢立肇、富野由悠季/キャラクターデザイン・総作画監督:川元利浩/総メカ作画監督:佐野浩敏/モビルスーツ原案:大河原邦男/メカニカルスタイリング:河森正治/メカニカルデザイン:カトキハジメ、明貴美加(RED)、石津泰志、澄矢トオル/美術監督:東潤一/撮影監督:奥井敦/音楽:萩田光男(ビクター音産)/音響監督:浦上靖夫/プロデューサー:植田益朗(サンライズ)、高梨実(バンダイ)/構成・監督:今西隆志/製作:サンライズ・バンダイ/製作著作:サンライズ/配給:松竹株式会社

—CAST—

コウ・ウラキ:堀川亮/ニナ・パープルトン:佐久間レイ/アナベル・ガトー:大塚明夫/チャック・キース:山田義徳/モラー・バシット:伊倉一寿/シマー・ガラハウ:真柴摩利/シナプス艦長:大塚周夫/エギーユ・デラズ:小林清志

8月29日(土)の夏休みロードショー!

地下鉄東銀座駅下車・松竹会館B1 新宿紀伊國屋ビルうら
松竹セントラル3 新宿ピカデリー2
03(3541)2716 03(3352)4043

前売鑑賞券発売中!! 一般券1,400円/学生券(大・高・中)1,200円/小学生券900円(当日料金:一般1,700円/大・高生1,500円/中学生1,300円) 小学生・シニア(60才以上)1,000円